

第18回「地球環境シリーズ」講演会

主催：国立研究開発法人海洋研究開発機構

後援：文部科学省・環境省

カーボンニュートラルと IPCC 最新評価報告書 からのメッセージ

令和3年

10月28日 木

13:00~16:30

オンライン開催

13:00~13:20

開会挨拶・趣旨説明
河宮 未知生 (JAMSTEC)

13:50~14:20

炭素排出と気温上昇：温度目標
達成のためにはCO₂排出量を
どの程度に抑えなければならないか
立入 都 (JAMSTEC)

13:20~13:50

Emissions from
human activities caused
rise in greenhouse gases
Prabir K. Patra (JAMSTEC) ※同時通訳付き

14:30~15:00

新型コロナ世界不況で温暖化は
は鈍ったか—CO₂と大気汚染の話
金谷 有剛 (JAMSTEC)

15:30~16:00

ゼロカーボンの暮らし方
とは？～地域の先行事例
を知って考える
木場 和義
(全国地球温暖化防止活動推進センター)

15:00~15:30

地球をめぐる温室効果ガス：
カーボンニュートラルで
気候は安定化するのか？
三枝 信子 (国立環境研究所)

16:00~16:30

ディスカッションコーナー
& まとめ

2021年8月、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)による最新の第6次評価報告書：自然科学的根拠が公表されました。本講演会では、地球温暖化を引き起こす大気中の二酸化炭素(CO₂)濃度の増加が近年どれほど進んだのか、これからのCO₂排出量をどの範囲に抑えなければならないか、新型コロナウイルス感染症の流行で経済活動が停滞したが温暖化は鈍ったのか、など報告書に研究者が貢献した内容を含めた科学的成果をわかりやすくお伝えします。

IPCCの評価は、日本の目標となった「2050年カーボンニュートラル」や、あわせて紹介する国の方針や自治体での取組の背景にもつながっています。近く開催されるCOP26(気候変動枠組条約の締約国会議)での国際交渉にも影響を与えるであろう最新の知見に触れ、私たちの生活とのかかわりについて考えたいと思います。



◀◀◀ オンライン配信等、詳しくは Web サイトにてご案内いたします

<http://www.jamstec.go.jp/j/pr-event/earth-env2021/>

お問い合わせ：海洋研究開発機構 研究推進部

E-mail : earth-sympo@jamstec.go.jp



令和3年

10月28日 木

13:00~16:30

オンライン開催

カーボン ニュートラル の科学

~IPCC 最新評価報告書
からのメッセージ~



13:00~13:20

開会挨拶・趣旨説明
ー 講演会の聴きどころー

河宮 未知生

海洋研究開発機構 地球環境部門
環境変動予測研究センター長



14:30~15:00

新型コロナ世界不況で温暖化は
鈍ったかーCO₂と大気汚染の話

金谷 有剛

海洋研究開発機構 地球環境部門
地球表層システム研究センター長



13:20~13:50

Emissions from human activities
caused rise in greenhouse gases

※同時通訳付き

Prabir K. Patra

海洋研究開発機構 地球環境部門
地球表層システム研究センター
グループリーダー代理



15:00~15:30

地球をめぐる温室効果ガス：
カーボンニュートラルで気候は
安定化するか？

三枝 信子

国立環境研究所 地球システム領域長



13:50~14:20

炭素排出と気温上昇：温度目標達成
のためにはCO₂排出量をどの程度に
抑えなければならないか

立入 郁

海洋研究開発機構 地球環境部門
環境変動予測研究センター
グループリーダー



15:30~16:00

ゼロカーボンの暮らし方とは？
ー地域の先行事例を知って考える

木場 和義

全国地球温暖化防止活動推進センター
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)
事務局次長



14:20~14:30

休憩

16:00~16:25

ディスカッションコーナー

16:25~16:30

講演会のまとめ